

指定管理者制度導入施設の状況と業務評価結果

1 施設概要と状況

施設名	三瓶自然館及びその附属施設					
指定管理者	(公財)しまね自然と環境財団					
設置目的	三瓶山およびその周辺地域の豊かな自然の中に、自然と親しむ場を確保し、あわせて自然環境に関する学習機会を提供するため					
所在市町村	大田市	設置年度	平成3年	利用料金制	有	
施設規模	敷地面積	14,822.00㎡	建物延床面積	8,678.00㎡	指定管理者制度導入年	(H17)
利用の動向	H30	R1	R2(実績)	R2(見込)	正規	33
入館者数(人)	111,886	100,897	95,821	147,500		
収支構造(千円)	H30	R1	R2(実績)	R2(見込)	R3.4.1 職員数 (人)	その他
施設の総収入	308,369	306,504	339,851			
うち指定管理料	276,048	283,302	316,518		合計	44
施設の総支出	309,656	300,371	332,894			
使用料・入館料収入等	23,954	20,221	17,267	26,870		

2 業務評価結果

評価項目	評価
共通項目	
運営上の基本的事項	
管理運営	
設置目的の達成(※)	
平等利用等公の施設としての配慮(職員研修)	a
平等利用等公の施設としての配慮(その他)	a
運営に対する意欲	a
広報事業等に係る事項	
広報事業・利用促進事業等	
計画性、PR・誘客効果	b
関係者、他施設等との連携	a
施設運営に係る事項	
管理運営の内容	
危機管理体制	a
利用者対応(苦情対策、トラブルの未然防止、要望の把握・対応)	b
管理物件の維持管理	
維持管理の状況	a
サービス実施体制に係る事項	
組織体制	
人員配置体制(責任体制、配置)	a
人材育成	
職員研修の実施	b

評価項目	評価
共通項目	
サービス実施体制に係る事項	
コンプライアンス体制	
法令遵守体制(個人情報保護ほか)	b
財政基盤・財務	
財政状況の健全性	b
収支状況(事業計画との比較)	b
経理処理	b
各種帳簿、関係書類の整備	b
固有項目	
企画事業、調査研究事業等	
特別企画展の実施(※)	
自然保護に関する啓発等(※)	
調査研究事業	b
博物資料の収集・保管・活用	a
三瓶地域への貢献度	
三瓶地域における地域貢献度	a

総合評価 **S**

【参考】数値目標達成率

	H30	R1	R2	趨勢
総入館者数(人)	目標 153,060	117,000	147,500	▲
	実績 111,886	100,897	95,821	
目標達成率	73.1%	86.2%	65.0%	

(※)利用の動向により評価することとしている設置目的の達成等については、コロナの影響があることから評価項目から除外し、評価コメントにおいて状況等を記載する。

項目評価の目安

- a: 業務を適切に実施し、目標を上回る達成度(2点)
- b: 業務を適切に実施し、概ね目標を達成(1点)
- c: 不適切な業務実施/目標を大きく下回る(0点)

総合評価の目安

- S: 実績が協定書の内容や目標を上回り、優れた管理がおこなわれたもの(80%以上。ただし、個別評価項目にcがないこと。)
- A: 概ね協定書等の内容とおりの管理が行われており、適正な管理が行われたもの(50%以上でありSに該当しない場合)
- B: 実績が協定書等の内容や目標を下回り、さらなる工夫、努力及び改善が必要なもの(30~50%未満)
- C: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善が必要なもの(30%未満)

評価コメント

三瓶自然館は令和元年度に実施した展示改修を終え、4月16日にリニューアルオープンを控えていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う県からの要請により、4~5月を休館(三瓶小豆原埋没林公園は4月11日より休館)した。
6月1日の開館後は、新型コロナウイルス感染症の感染防止に留意しながら企画展や各種イベントを実施するとともに、新聞やケーブルテレビ、SNS等を利用した広報を実施した。
また、各種団体、学校等への環境学習へ積極的に講師派遣を行ったり、修学旅行の受入れ拡大に努めるなど学習の場づくりに貢献している。